

日	月	火	水	木	金	土
<p>今月の不燃物処理場の開場日 8/1・8/4・8/9・8/11・8/15・8/18・8/23・8/25 (粗大ごみ処理券(300円)が必要な場合があります。) 受付時間 9:00~16:00 土山不燃物処理場 Tel66-1140 ※ 燃える粗大ごみ・燃えない粗大ごみ戸別収集も随時されています。連絡先：(株) ヒロセ 0748-52-0943 まで ※ 販売店で引き取ってもらえない家電4品目(エアコン・テレビ・冷蔵庫(凍)庫・洗濯機(乾燥機)の戸別収集についても(株)ヒロセへ！</p>						1
2	3 燃えるゴミ	4 燃えないゴミ回収日 ・いきいき百歳体操 14:00~15:00	5 のんびりカフェ 旧山内保育園	6 燃えるゴミ ペットボトル 発泡スチロール ライター 回収日	7 廃フラス回収日 ・自治振興会理事会 20:00~六友館	8
9 自治振興会山内っ子 夏休み教室 12:30~ 六友館 ミハルカス☆開催日 旧山内保育園	10 燃えるゴミ (祝日)	11 ・いきいき百歳体操 14:00~15:00	12 のんびりカフェ 旧山内保育園	13 燃えるゴミ	14 廃フラス回収日	15
16	17 燃えるゴミ	18 ・いきいき百歳体操 14:00~15:00	19 のんびりカフェ 旧山内保育園 ・自治振興会 20:00~六友館	20 燃えるゴミ	21 廃フラス回収日 ・山内俳句会 13:00~15:00	22 ・ふらんしーず 13:30~六友館 ・山内区長会 19:30~六友館
23 ミハルカス☆開催日 旧山内保育園 (おむすびの会) 一緒 (たんぼぼの会) 参加	24 燃えるゴミ	25 ・いきいき百歳体操 14:00~15:00	26 のんびりカフェ 旧山内保育園 ・自治振興会 20:00~ 六友館	27 燃えるゴミ	28 廃フラス回収日	29
30	31 燃えるゴミ	<p>新型コロナウイルス感染症拡大対策や諸 事情により変更されることもあります！</p> <p>山内地域市民センター長</p>		<p>[山内公民館・六友館利用予定団体] 山内俳句会、山内切り絵の会、ふらんしーず、 いきいき百歳体操、山内区長会、おむすびの会、 たんぼぼの会、山内自治振興会</p>		

～甲賀市リスクレベル～ (令和2年7月27日現在)

[レベル3(警報)]

公共施設の休館について：現時点では、集団感染における新規感染者は発生しておらず、甲賀保健所による健康観察期間が8月3日で終了する。ことから、現在休館中の甲賀地域の屋内公共施設及び甲賀地域の小中学校の学校開放については、8月4日から再開を予定されています。

上記の観察期間が終了した後、状況に変化がなければ、リスクレベルを[レベル2警戒]に引き下げます。

※一人一人が、“明日は我が身”誰がなってもおかしくない！周りを思いやる気持ちを大切に日々の生活を過ごしていきたいですね！

本市レベル	本市の判断基準	具体的な対策例
レベル4 (特別警報)	① 滋賀県「特別警戒ステージ」の段階	レベル3の対策に加え ・不要不急の外出自粛要請 ・市業務継続計画の発動
レベル3 (警報)	① 滋賀県「警戒ステージ」の段階 かつ ② 市内で感染経路不明の新規感染者が発生	レベル2の対策に加え ・市内公共施設の全面休館・休園、閉鎖等 ・事業の全面自粛 市の分散勤務の実施 ・市業務継続計画の準備
レベル2 (警戒)	① 滋賀県「警戒ステージ」の段階 かつ ② 市内で感染経路不明の新規感染者が未発生	レベル1の対策に加え ・県をまたいだ移動の自粛 ・施設の利用制限、利用者把握 ・事業の開催自粛(小規模を除く)
レベル1 (注意)	① 滋賀県「注意ステージ」の段階	・「密閉」「密集」「密接」の3密回避、 社会的距離の確保 ・マスクの着用、手洗いの徹底などの対策を 継続しながら活動実施
正常	国内で新規感染者が確認されていない	・通常の感染症予防活動

・特別定額給付金の申請期限は
8月21日(金)迄 お早めに！



山内俳句会の皆様より
景月の句

栗の花
分散登枝
終わりかな

・杣村の
野仏優しや
合歡の花

・古池や
三株が咲きし
黄あやめ

・初なりの
胡瓜一本
今朝の顔

・くらやみを
くらく声出す
牛蛙

・あやめ咲く
ここは荒地の
中にあり



♡おむすびの会・たんぽぽの会 in 旧山内保育園♡

販売は
11時
30分
↓

8月23日(日)のミハルカスにて販売をします!

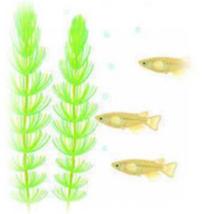
・おむすびの会⇒ちらし寿司 (1パック ¥300)

・たんぽぽの会⇒どうかん団子(1パック ¥200)

※当日は、「3密」新型コロナウイルス感染症拡大対策として、距離を
あけて購入していただけるように待機線を明示しておりますのでご協力をお
願います! なお、予約制ではありませんのでご了承くださいね。

地域市民センター和美ちゃんの聞いて欲しいねん!

突然ですが!公民館には、メダカさん、カブト虫さん、
そして鈴虫さんに、植木が数種類。さぎ草や山や滝の写真
やスケッチ画など、様々な愛好家の皆様のお心遣いによ
り、名付けて「山内生き物自然館」。今年は、カブト虫オス
7匹・メス5匹ふ化し、昨年の半分以下という飼育結果と
なりました。人間もそうですが、生き物を育てるって本当
に難しいことですね。しかし、地域の皆さんの知恵や力をお
借りし、何とか日照時間が短く日陰で薄暗い公民館のロ
ビーが明るくキラキラと輝いています。



へき地カフェ「ミハルカス」「のんびりカフェ」?

どんなところ〜?こんなところ。二人からのメッセージです。

小学校、保育園など、子供が集まる場所は地域に賑わいをもたらしてくれます。
昔は自分や子供たちが通っていたり、行事に地域の方々に参加したり、思い入
れが深い場所ですが閉校閉園となり、山内小学校が一般企業の活用で話が進む
中、閉園して変わり果てた山内保育園を何とか地元で活用できればよいのに・
山内に元気をとり戻したい!との想いで平子、西村が協力しあい。
締め切られていた保育園の窓を開け、家族もまきこみ、連日の草刈りと掃除、
二ヶ月後には山内小学校から図工室の机や子供達が使っていたイス、使えそ
うな備品などを運び、リメイク、リユースをして、ようやく去年11月にチャレンジ
カフェ「ミハルカス」が始動しました!

山内地域の交流拠点として、月に1, 2回の開催には、地域のお年寄りや子供
連れの方が喜んで立ち寄ってくださるよう。私達のカフェで交流の場が生まれ、
気軽に広い園舎で遊ぶ子連れや若い方にも好評と聞き、とてもうれしいです。
コロナの禍の中、少しでも元気を!とミハルカス再開の6月には、たんぽぽの会
やおむすびの会の皆さん、地元のお店や企業の方々にも協力していただき、
『やまうち応援ミハルカス』企画も大盛況でした!
こうした中、平日にも開催して欲しいとの声もあり、毎週水曜日を基本に
「のんびりカフェ」を始めています。

(山内小学校校歌、第1節「鈴鹿の山をみはるかす」)
「みはるかす」とは、霧が晴れはるか遠くまで見渡せる
様子を唱っています。私達の手探りの活動を支えてい
るのは地域への愛着、温かいお言葉!そして自分達が
これから歳を重ねていく時にお互いさまの
関係とつながりを持てる居場所づくりへの想いです。



へき地カフェ「ミハルカス」 これからもよろしくお願ひします。

編集後記: 何度もお知らせしていますが、「特別定額給付金」の申請期限は今
月の21日までです。また、新たに甲賀市独自の「地域経済応援クーポン券」
が1世帯に1冊届いていると思いますが、利用可能期間は令和3年1月31
日(日)。取扱い店舗の詳細は同封または、甲賀市ホームページに掲載されてい
ます。アナログ世代の皆さん分らないことありましたら、お気軽に声をかけ
てくださいね。今月号も最後までお読みいただきありがとうございました♡

山内考(7) 山内のむかしばなし「山中他界観」

何年か前、山内小学校でお話をした時のことですが、葬式
の話題の中で、山内住民の多くが「山中他界観」の観念を持
っておられると話す、井坂校長先生が大変興味を持たれた
ことがありました。校長先生は、このことを山内エコクラブ
で話されたようで、エコクラブのジャンボ絵本に「山中他界
観」が描かれ多くの賞を受けられたようです。その後、朝日
新聞の記者が私の所に取材に来られたため、私は今日まで調
べた山内住民の他界観(人間が死んだ後の考え方)をお話し
しました。

山内の多くの集落は、死後の肉体をより高い山の上(さん
まい)に埋葬して埋め墓とし、先祖礼拝のお墓は集落の近く
に建てられています(両墓制)。これは死後肉体から離れた
霊魂が他界で存続するという考え方で「山中他界観」と言わ
れています。日本人なら誰もが知っている賢人、弘法大師は、
御遺告で弟子等に「吾れ山に帰らん」と告げ、断穀(穀類を
食べないこと)。断水行(水を飲まないこと)に入り、3月21
日に高野山で入滅されています。

この考えは、多くの日本人が持っている観念ですが、墓を
山と里に二つ作る所は少ないのです。若いころ集落のお年寄
りに話を聞きに行くと「お山が迎えにくる」という言葉を何
回か聞きました。「お山が迎えにくる」とは、死んだら山に行
くという他界観を持っておられると気付くまでに何年もか
かりました。

平成13年4月1日に甲賀斎苑が供用開始され、山内の葬
送儀礼は大きく変わりました。この時から、私は過去の葬送
儀礼や村の行事を調査し始め、山内のお年寄りが自分の死や
葬をどのように考え生きてこられたのかを調べるうちに「山
中他界観」と「お山が迎えにくる」が同じであることに気付
いたのです。

多くの事を調べると山内の人々が自然に畏敬の念を持ち、
自然とともに心豊かに暮らしてきた過去が解ってきます。

今回はこのあたりで終わらせていただきます。

【文章解説】 他界=死ぬこと 霊魂=死後の魂
両墓制=埋め墓と石塔墓



文責 鍋家 渡支雄

